

みんなで考えよう、霞ヶ浦の水質浄化



「霞ヶ浦の日」をご存じですか？

☎ 環境保全課 (☎826-1111 内線2449)

霞ヶ浦は、流域の人口の増加や社会経済活動の進展などで、富栄養化による水質の汚濁が進み、特に昭和53年度から54年度にかけては著しく汚濁が進んで大きな問題になりました。

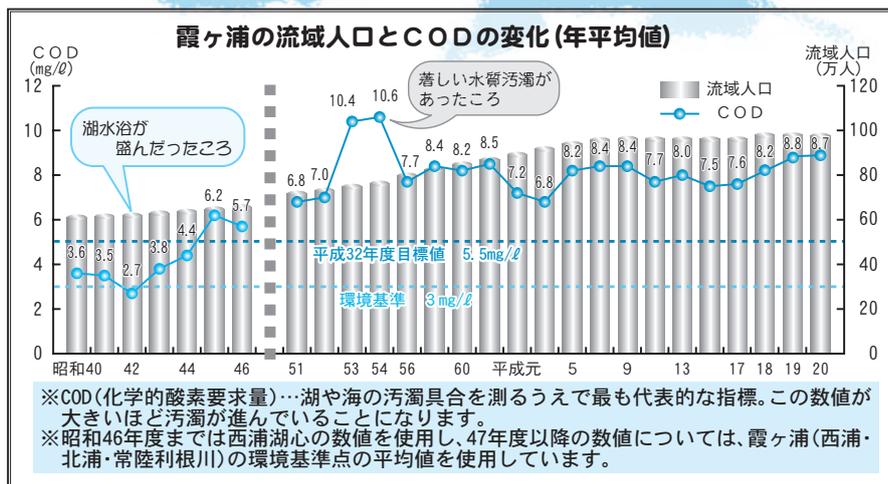
このため、県では霞ヶ浦の富栄養化を防止し、環境を保全するため昭和56年に「茨城県霞ヶ浦の富栄養化の防止に関する条例」(茨城県霞ヶ浦水質保全条例)を制定し、翌年に施行した9月1日を記念して「霞ヶ浦の日」としました。



私たちにできる 浄化対策

- ♥ 台所に目の細かいストレーナーや三角コーナーを設置する。
- ♥ 天ぷらなどの油は、使い切った固形剤で固めてごみとして出す。
- ♥ お風呂の残り湯は洗濯などに使う。
- ♥ 米のとぎ汁は養分を含んでいるので、植木の水やりにする。
- ♥ 川や湖にごみを捨てないようにする。

日常生活から気をつけましょう！



10月で1歳になる 赤ちゃんを募集!!

誕生日と連絡先を記入のうえ、写真と一言(20文字程度)を添えて8月31日(月)までに広報広聴課へ。上旬・中旬号に分けての掲載となります。
 なお、応募写真は返却できませんので、ご了承ください。



※掲載した氏名、住所などの個人情報、この広報紙以外では使用しません。



第2回目の今回は、市内の路線バスについてご紹介します。

☎ 都市計画課 (☎826-1111 内線2382)

県南の中心都市として発展してきた土浦市では、多くの本数の民間路線バスが運行され、市民の皆さんや市内に通勤・通学されている方、また観光客の足として活躍しています。

しかし、マイカーを利用する方が増えてきたので、公共交通である路線バスの置かれている状況はとて厳しくなっています。

右のグラフは、市内を走行する路線バスの年間利用者数の推移です。昭和44年をピークとして、平成19年度はその約15%まで落ちこんでいます。ここ10年間を見ても、半減しているのが見られます。

マイカーは確かに便利な乗り物ですが、環境への負荷が大きく、高齢者による事故の増加などの問題も抱えています。

そのような状況の中で、環境に優しく、高齢などで運転ができない方の身近な足として、路線バスの重要性が見直されてきています。

しかし、多くの方がマイカーしか利用しないと、路線バスは採算が取れず、これからもどんどん廃止されてしまいます。

路線バスの維持や確保には、皆さん一人ひとりの協力が必要です。今後さらに進む高齢社会に備えて、また環境に優しい乗り物を次世代に引き継いでいくために、マイカーだけに依存せず、路線バスと上手く使い分ける生活を考えてみてはいかがでしょうか。



こ・ん・に・ち・は 赤・ち・ゃ・ん

HAPPY BIRTHDAY

8月生まれ

